

ハイエースファン キャンピングカー&トランスポーター&車中泊ユーザー必見!

TOYOTA new

HIACE fan

VOL.

27

ハイエース 購入 **後** ガイド

愛車をさらに快適に **スタイリッシュに乗りこなせ!**

最新パーツピックアップ!

広々車内の秘密は“高さ”にある!

ラクラク立てる!
ハイエース

- キャブコン
- ポップアップ
- スーパーハイルーフ

最新
キャンパー&トランポ
**購入
ガイド**

使ってみて初めて分かる

オーナーの遊び方・楽しみ方紹介



HIACE fan



基本情報、使用環境、用途により最適モデルは変わる

車両本体に、オプション+諸費用、任意保険代が必要

教えて! ビルダーさん ショップに行って 話をすることから “車両購入”は始まる



キャンピングカーは高額なだけに、購入を考えている人は様々な不安があるのでは? そもそもショップに行くことに気後れしている人もいるハズ。今回話を伺ったピークルの藤森さんは「まずは気軽に来てください」と話す。さらに、ショップに行く際に知っておくべきコト、役立つ情報も訊いておいたゾ!



2人、5人、7人等々、何人乗るかによりオススメが変わる。ダイネット形式やベッドのサイズや場所に加え、駐車環境に關係する車両サイズも重要だ。



“諸費用は車両価格の1割強”という一般論は、キャンパーにも当てはまる。ただ、取得税はやや割安な印象。OPは、標準装備を確認したうえで選びたい。



何人乗って何人寝る、等の
基本情報はまとめておこう

「まずは気兼ねなく見に来てください。さらに「見に行くだけなら、アポは要りません。ただ、お目当てのモデルがある場合は、電話等で確認した方が良いでしょう」とも。理由は、そのモデルがいつも展示場にあるとは限らないから。とくにイベント日には、何台も出張し、店舗には数台しか残らないというケースもある。

そして、ショップに行く際に整理しておきたいのが『基本情報』。乗車人数、就寝人数、使用目的



乗り心地や横風が心配
なんだけど……？

車両、キャンパー設備の
メンテナンスは大丈夫？

8ナンバーと3ナンバー
に違いはあるのか？

高額な買い物なので
妥協はせずに相談しよう



乗り心地は、ベース車をワゴンにする手もあるし、サスのパーツ交換で改善できることも。一方、横風は……、車体が大きいだけに仕方がない面があるのも事実。



「うちのクルマはディーラーでメンテが受けられるし、家具のメンテも必要ない」(藤森さん) 車体を加工していたり、特別な装備を積む場合は、購入店に応相談。



一番の違いは車検。3ナンバーは3-2-2…年で、8ナンバーは2-2-2…年。取得税も割安感があり、自動車税、重量税も安い。シートベルト等の基準も異なる。



多くのビルダーで、シート生地の色や家具色が選べる。「既成モデルの仕様変更も、まずは相談してください」(藤森さん) 実現可能なこともあり、まずは相談!

プロショップからの
アドバイス

試乗ができるイベントも
あるので上手に活用しよう



本誌でもお馴染みのピークルの藤森さんは、「車庫入れに不安を感じる人もいますが、最近はバックカメラも一般的になりましたよ」と話す。「試乗できるイベントもあります。ソレを活用してはいかがでしょうか」実車を試乗するチャンスはある!



(キャンピング、車中泊?、普段も使う・使わない等の情報が、モデル選定のヒントになる(ピークルでは右の写真のアンケートも駆使)) 情報が多いと、プロは「質」の高い提案、アドバイスができる。話を進めていくうえで、金額の話は避けて通れない。一番の注意点は「車両本体」以外に「諸費用」がかかる点。OPを追加すると、その分価格も増えていく。「諸費用は、8ナンバー車は若干安い感覚。ただ、車両保険は保険会社によっては入れないケースもあるようです」(藤森さん) こういったキャンパーならではの注意点は、ショップでジックリと話をしないと判らない。そう、ショップに行く、というのが重要な第一歩なのだ。